

まもなく1学期が終わり、夏休みを迎えます。多くの生徒が部活動を引退し時間的に余裕ができたと思いますが、時間の使い方はどうでしょうか？多くの高等学校が7月から8月に説明会や体験入学を実施します。ぜひ、積極的に参加してみましょう。

先日、第2回の進路希望調査を実施しました。ほとんどの生徒が提出期限を守っていますが、クラス番号等の記入漏れはなかったでしょうか？また、高等学校の名称を正式名称で記入できているでしょうか？以前にも確認しましたが、進路事務は学校と家庭との間の手続きがたくさんあります。「忘れてしまった」「間違えてしまった」では取り返しのつかないことになるかもしれません…。提出物の忘れやミスが「不利」になることはあっても、「有利」になることは絶対にありません。「早めに提出する習慣」「提出する前に確認する習慣」をつけていきましょう。

○ 令和6年度県公立高等学校入学選抜についての主な変更点・留意点

○ 募集に関すること

- ・魅力ある県立高校づくり第2期方策実施にかかる募集停止校（6校）
→ 和光高校、岩槻北陵高校、皆野高校、鳩山高校、八潮高校、浦和工業高校
- ・2校（1校40人）で80人募集を減らしたこと。
→ 朝霞西、所沢西
- ・4校（1校40人）で160人募集を増やしたこと。
→ 越谷東、鶴ヶ島清風、ふじみ野（普通科）、川口市立（普通科）

○ 出願に関すること

- ・受検票の裏面に223円分（63円+特定記録郵便代160円）の切手を張ること。
複数の切手を貼る場合には重ならないように貼ること。
- ・一部の高校で電子出願の実施
→ 春日部（全・定）、庄和、寄居城北、春日部工業、本庄（全・定）、川口市立（全）
春日部女子、深谷、市立浦和、春日部東、深谷商業、市立浦和南、児玉、深谷第一、市立大宮北
*1月18日（木）から2月9日（金）の正午まで、ウェブ上で願書作成ができる。作成後、志願者自身で印刷した願書を用いる。入力内容については、基本的に紙で記入する入学願書と同様。その後、学校が高校に「入学願書・調査書」をまとめて郵送する。
*受検票は志願者が、2月13日（火）午後3時以降、各自、印刷する。

☆ 入学選考手数料納付方法

- （1）電子出願実施の県立高校及び川口市立高校（全日制）は、電子収納で納付
- （2）電子出願実施校以外の県立高校及びさいたま市立高校（3校）、川口市立高校（定時制）
川越市立高校は、納付書による納付
→ 収入証紙による納付は完全になくなった。納付書は願書とともに配布

○ 選抜に関すること

- ・面接を実施しなくなった学校（8校）
→ 小鹿野、秩父農工科学、所沢商業、豊岡、羽生実業、日高、富士見、吉川美南
- ・飯能高校が新たに面接を実施する。
- ・児玉高校が新たに各学科間等で第2志望を相互に認めるようになった。

*** 出願に関して大きな変更がありました。必ず確認しておきましょう。**